



広島

なんこく

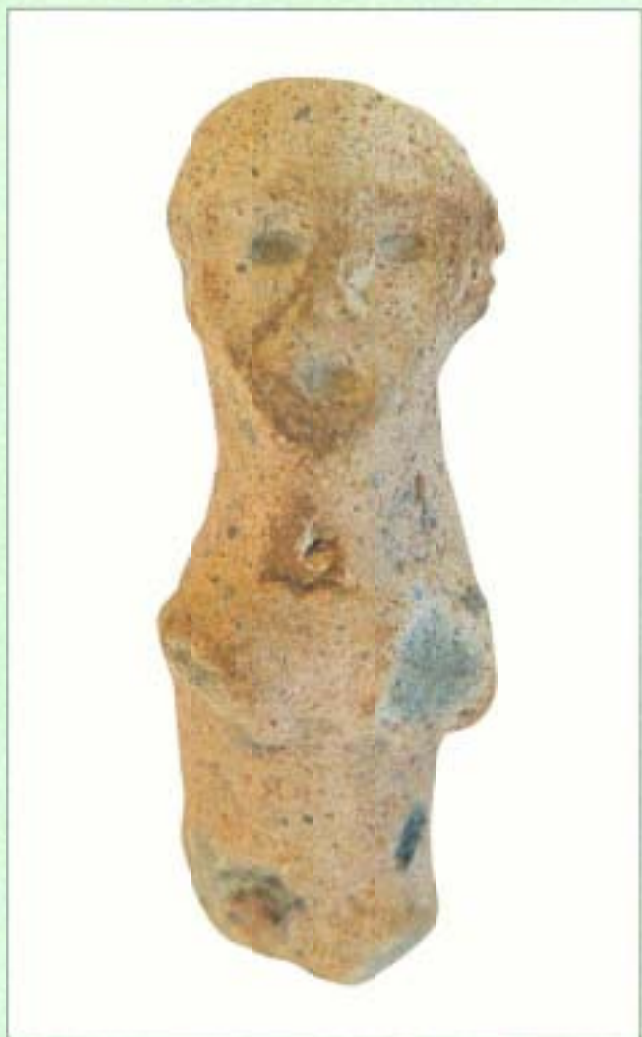
No.687



中広形銅矛

太古からの贈りもの

人の顔と動物の体を持った弥生時代の土製人形（全長6cm、幅2cm）が、田村遺跡群で出土されました。これは全国的にも異例なことで、弥生時代の文化を知る重要な手掛かりになるといわれています。このほかにも、祭祀用と思われる堀立柱建物が描かれた壺（高さ20cm・口径15cm）と、集落内での埋納状況が判明する中広形銅矛（全長約70cm・幅約7cm）が、それぞれ県内で初めて出土されました。貴重な出土品の相次ぐ発掘に、全国からの注目も集まっており、はるか昔のローマンに大きく近づいたのではないのでしょうか……。



人面動物形土製品



堀立柱建物絵画土器



- | | |
|-----------------|-------|
| 施政方針・フライトプラン・国体 | … ②～⑤ |
| 介護保険 | … ⑥～⑦ |
| 市政モニター座談会・国保・人権 | … ⑧～⑪ |
| カメラリポート | … ⑫～⑬ |
| みんなの広場 | … ⑭～⑮ |
| お知らせ | … ⑯～⑳ |
| 健康文化都市・南国 | … ㉓ |